

学校だより

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/es/utsukusigaokahigashi/>

45周年、未来への思い

副校長 二瓶 亜希子

ゆめもりの木



美しが丘東小学校は、今年、開校45周年を迎え、開校当時から美東小の子どもたちを見守ってくれているゆめもりの木も、見違えるほど大きくなりました。

10月21日(金)に行われた45周年記念式典と記念集会は、子どもたちの美東小への思い、自分たちが住む美しが丘のまちに対する思いを大いに感じられる時間となりました。一部紹介したいと思います。

45周年マスコットキャラクター「ビットー」を生み出した4年生の児童は、「ゆめをもって 未来へつなげよう 美東の輪」というスローガンと校歌の歌詞から、この「ビットー」を考えたそうです。デザインや色にはそれぞれに意味があり、その意味からは学校やまちに対する思いがあふれています。

児童代表の言葉では、1・2年生が「美東小の中のお気に入りの場所」について、3・4年生は「美東小で見つけた自分の夢」について、5・6年生は「これから美東小やたまプラーザの地域」について自分の思いを発表しました。

約3年もの間、学校での教育活動がどうしても外に開けない状況が続いていましたが、全ての学年の発表から、子どもたちの心は、しっかりと友達に向き、学校に向き、地域に向いていることに感動させられます。最上級生である6年生の児童は、「笑顔あふれるたまプラーザのまちに住みたい」と語り、「あいさつすること」と「地域のイベントに参加すること」でこの願いが叶えられるのではないかと、実に具体的に自分の思いや考えを述べていました。発表の一部を引用します。「そのための一歩として自分が笑顔で過ごし、周りの人も笑顔にしていきたい。悲しそうにしている人がいたらよりそい、楽しそうにしている人がいたらいっしょに笑う。そういうことができる人に私はなりたい。」そしてその児童は、少なくとも私が美東小に着任した2年前からすでに、とびきりの笑顔と明るい声で朝のあいさつを実践し、私を笑顔にしてくれていることも付け加えたいと思います。

11月には、3年ぶりに全校音楽会の実施、4年ぶりのふれあい広場の開催も実現する見通しです。PTA活動全体の、3年前までをとりもどすというよりは、今の社会に順応していくと変化する大きな推進力にも感謝申し上げます。これからも学校と家庭と地域が、子どもたちを中心に、子どもたちの夢と思いを共有し、よりよい未来を実現するチームでありたいと強く思います。

